

単元名 (旧)おもしろアイデアボックス(工作)

配当時間

5時間

単元の目標 (1) 段ボールの特徴を生かして、用具や材料の使い方を工夫することができる。
(2) 段ボールの特徴を生かした便利で使いやすい、工夫のある箱を考えることができる。
自分の
箱の工夫を伝えながら、相手の工夫も聞き、そのよさを感じとることができる。
(3) 段ボールを使って、便利で楽しく使える箱をつくることに取り組もうとする。

標準的な展開

04080307_001

【準備等】 段ボール、包装紙、レース・モール・ひもなどの身近材、色画用紙、片面段ボール、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、きり、木工用接着剤、粘着テープ、水彩用具一式はさみ、のり、定規

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 段ボールでつくる、便利に楽しく使える箱はどんなものかを考える。 ★段ボールの特徴を生かして、自分のものを入れる箱をつくろう ○段ボールの特徴を確認する。</p> <p>○アイデアボックスのデザインを考える。 ・カエルの口の形 ・インコの形 ・ハートの形 ・写真をかざる ・大きさを変えて重ねる</p> <p>2～4 段ボールを生かしたアイデアボックスを作る。 ○段ボールカッターの使い方について確認する。</p> <p>○段ボールを使った箱を作る。 ・段ボール箱を生かして作る ・段ボール紙から箱を組み立てる ○アイデアボックスの飾りを考えてつくる。</p> <p>5 アイデアボックスの鑑賞会をする。 ○アイデアボックスの機能や工夫した点などについて紹介し合う。(言語活動)</p>	<p>・教科書3・4下 P.18, 19</p> <p>・教科書P.18の図を見せながら確認する。 ・実際に段ボールを示しながら、折り方、切り方について確認する。 ・箱の基本的なつくり方の具体的な見本を見せられるようにしておく。 ・アイデアスケッチをして、具体的な形を考えさせる。 ・必要な材料についてもここで考え、計画を立てる。 【評】段ボールの特徴を生かしながら、便利で使いやすい箱の形や色を工夫する活動を通して、「発想や構想の能力」を評価する。</p> <p>・段ボールカッターを使用するので、周囲の空間にゆとりをもたせて、安全に活動できるようにさせる。 ・算数科の展開図との関連を図ることもできる</p> <p>・色や形の工夫だけでなく、実際に使う場合を考えて、使いやすく、楽しい飾りになるようにさせる。 【評】段ボールの特徴を生かして、用具、材料を適切に使用してつくる活動を通して、「創造的な技能」を評価する。</p> <p>・できたアイデアボックスにもものを入れるなど実際に使う場面を想定して紹介する。 ・アイデアボックスの工夫を伝え合い、よさや面白さを伝え合う。</p>

【 備 考 】